



私の経験では： 母乳育児と 監護権の ストーリー集

MIBFN
Michigan Breastfeeding Network

あなたが一人ではないことを知っているだけで、あなたに力をもたらし
ことができます。

これらは人々から寄せられた本当の話です。

次の話は、オンライン調査を通じてミシガン授乳ネットワークにより収集されました。
アンケートや自分の話をシェアしたい場合、<http://www.mibreastfeeding.org/child-custody>
をご覧ください。

決定力

時には辛くても、私は4ヶ月の娘を誇りを持って授乳しています。彼女のお父さんと私は、彼女の誕生前に別れました。今も別れたままです。新生児や幼児を育てた経験がない彼に、私の娘を預けることはできません。裁判所に行った後、彼は水曜日数時間と、土曜日には6時間面会することができます。裁判所は授乳中であることを考慮しませんでした。いつも必要以上にポンプしてあげるけれど、彼はいつも足りないといい、フォーミュラをあげると脅してきます。彼女は土曜日に帰宅すると、お腹が痛くて、泣き叫んで吐きました。彼女はうるさい赤ちゃんではなく、非常に良い子です。彼が時々娘に粉ミルクを飲ませすぎる時があると思います。彼女の便通はより暗くなり、粉ミルクを飲みすぎたと分かります。私は落胆せず彼に送ったミルクが足りていると言いつつ、医者も娘のミルクが足りていると言っていました。彼は私に圧力をかけてきて、最終的に私は彼女に粉ミルクをあげることになるだろうと言っていました。時にはストレスの影響で出す量が減るが、私は娘のことを考えます。彼との継続的な戦いですが、諦めません。実際、この経験のおかげで自ら調べたりして、知識を取り込んでいます。すべての困難を乗り越えて、私は前に進み、私の赤ちゃんを母乳で育てることを決して諦めません。私は励まされました。娘の父親が私の母乳育児を尊重したり励ましたりしなことに、私は怒りを覚えました。私はあきらめず、私の子供を母乳で育てる権利を求め続けます。

妥協の力

私の息子の父親は、実父確定検査の結果が出るまで息子の父親ということを否定しました。私はメディケイドを持っているので、裁判所も関与することになりました。娘の父親は私に、子供が生まれて1年目の時に母乳育児が必要あることを理解していると言っていました。しかし、私が妊娠してからすべて変わりました。彼は精神的虐待をし始めました。子供を育った経験がない彼が、ある日突然、2週に1回息子を預かることを求めました。**だから私は母乳育児のために息子が一度に48時間私から離れていてはならないと申し立てを申請しました**（彼はこの時点で生後4ヶ月でした）。それに、私と息子の関係に妨げることをしたくなかったのです。彼は毎週自分の考えを変えて、「息子に係わりたくない、1年後また話そう」から「私は完全親権が欲しい、警察を呼ぶよ」など、想像を絶するような考えが多々ありました。ご理解していただけますでしょうか。**私は最終的に1日目からやるべきことをしました。それは弁護士に連絡することです。** 私たちは仲良くないけど、母乳育児を続けるために私が彼の家に泊めてもらい、彼が別の部屋で寝る間、私と子供は授乳したり一緒に寝たりします。私は彼のためにミルクを残し、早朝に家を出ます。**弁護士によれば、非常に稀なのですが、なんとか裁判所の命令に盛り込むことができました。** 私の息子は現在生後6ヶ月です。最大の問題は、彼の言葉の暴力や精神的な虐待によりミルクを十分にさせなくなることです。**私はこれが良い結果だと感じています。なぜなら、このような状況では妥協が必要だからです。**

知識の力

最初の息子が生後15ヶ月の時に離乳するまで、私はいつも母乳育児に固執していました。当時の私の末っ子はわずか6ヶ月でした。私は夫と離婚し、90マイル離れてしまい、母乳育児をやめなければならぬという恐ろしい事実を突き付けられました。**私は児童支援専門家の事務所で叫びたかったのを覚えています。** 私はたくさん泣いて、夫に末っ子のためにもう少し時間をくださいとお願いしました。

最初は、私をコントロールする気持ちが好きだったのかもしれませんが、次第に授乳をやめさせたくないと感じたのです。幸い、彼は同意し、母乳育児がどれほど重要であるかを知りました。彼は私たちの長男を育てて、私と末っ子が1対1の時間を過ごすことができました。幸い、母乳育児を終えることができ、無事一年目を終えました。元夫は時々怒ったりしましたが、長く続いたことはありませんでした。彼らの関係に全く影響を及ぼしていないと思っています。実際に、私たちの末っ子は、長男よりも元夫と仲良いです。

コミュニティカウンセリングサービスからもっと多くの情報とリソースを提供していただきたいと思いましたが、あまり役に立つ情報やサービスはありませんでした。ただ世話をするためにいたのです。我々は同意したので弁護士を経由しなかったが、同意しなければ、結果が違っていただかもしれません。すべてのコミュニティカウンセリングサービスには、母乳育児関係の終結を防ぐために、事務所に役に立つツールボックスをおくべきです。私はあの時非常に不安でしたが、良い結果でよかったと思います。しかし、多くの人は良い結果を得ることができないと思います。

サポートの力

裁判官が14日の内、5日間を父親と過ごす時間を与える判決を下したのは、娘がまだ生後3ヶ月の時でした。私は12週間の出産休暇の後、仕事に戻っていました。私の娘と別れて仕事に戻るのは難しかったです。私はその日のためにミルクをポンプしていた。ただでさえ、離婚によるストレスがありました。それに、娘が父親と過ごす時のためにミルクをポンプしなければならなかったのです。私は毎日少なくとも2~3時間かけてミルクをポンプしました。家族、友人、同僚のおかげで娘が2歳をすぎても、母乳育児することができました。他のお母さんや赤ちゃんがこの不公平な行為をされないことを願っています。意思決定者は、専門家（医師、コンサルタント）の意見を聞くことが大事だと思います。授乳は正確な科学ではなく、授乳には多くの時間がかかり、効果的ではないかもしれません。母親は人間であり、最後は乳児の成長と発育の最も重要な要素の1つです。

理解の力

私たちは調停に行く必要がありました。私は母乳育児が終わるまで夜通しの訪問をしないことに同意しました。私の母乳育児のプロセスは大変でした。私はたくさんのミルクをポンプするのに苦労しました。いつも夜通し分のミルクがたりませんでした。つまり、私が子供の父親に一晚滞在させなければならないとすれば、私の子供は粉ミルクを飲まなければならないということです（私は決して同意しませんでした）。あるいは、夜中にミルクを届けに行く必要がありました。幸い、私の子供の父親は理解してくれました。私たちの子供が1歳になってから、彼が子供と泊まることを許しました。

（役に立つと思われるリソースやサービスの一覧）母親が母乳育児の話をするなどのリソース。すべての母親の経験は異なるので、このプロセス中に異なる母親や赤ちゃんが何を体験するかについて、すべての関係者がより理解できるようになります。また、すべての母親のことを理解すること自体が素晴らしいツールになります。ある母親は子供を粉ミルクを飲ませたくないと感じていますが、他の母親は飲ませても大丈夫だそうです。母親が、子供に母乳育児のみか、母乳と粉ミルクを両方提供することを決定して満足したとよう感じる限り、この状況に対処する際には、父親が忍耐強く、理解することが重要です。

アンケートや自分の話をシェアしたい場合、<http://www.mibreastfeeding.org/child-custody>をご覧ください。

母乳育児のためのその他のリソース：

実際の親が提出した上記のストーリーに加えて、ミシガン州の母乳育児ネットワークは、より多くのリソースを作り出しています。<http://www.mibreastfeeding.org/child-custody>。

次のようなリソースがあります：



1) 母乳育児と親権ガイド

このガイドでは、法律の概要を説明し、母乳に関する情報を提供し、両親の親子関係の重要性について説明し、分娩を通じて継続的な母乳育児のヒントを提供します。



2) 父親/授乳する保護者以外の親のためのリソース

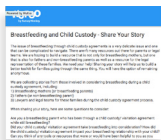
母乳育児をしない親のためのこの資料は、児童養護に同意に基づく母乳育児の継続を支援することの重要性を強調しています。母乳と母乳育児は、子供にとって非常に大切なことです。子供の肉体的、感情的な健康に重要な役割を果たします。



3) 裁判所への手紙（サンプル）

私たちは、手紙のテンプレートを提供しました。

- 1) 手紙サンプル - 母乳育児と介護の検討： この手紙は、母親（母乳育児の親）が記入して署名し、裁判官に提出しなければなりません。
- 2) 手紙サンプル- 授乳の利点： この手紙は、裁判官に提出され、授乳コンサルタントまたは小児栄養士によって署名されます。



4) 自分の話をシェアするためのプラットフォーム

母乳育児と児童養育に関する自分の話をシェアするには、www.mibreastfeeding.org/child-custodyをご覧ください。